

令和3年度第2回鎌倉市食育推進会議会議録

令和4年3月24日（木）
18時00分開会
オンラインにて

事務局

定刻になりましたので、始めさせていただきます。皆さまこんばんは。市民健康課長の石黒でございます。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日、安齋委員、及川委員、河原委員、富田委員からは欠席との連絡を受けております。本日の出席者は6名で、過半数を超えておりますので、本推進会議条例施行規則第3条第2項の規定により会議は成立しておりますことをご報告いたします。

また、今回の会議開催に際し、事前に傍聴希望者の募集を行いました。希望者はいなかったことを報告させていただきます。

庁内関係課長で構成されている鎌倉市食育連絡協議会委員ですが、本日の会議には出席しておりませんが、本会議開催前に協議会を開催し、庁内の連携を図っております。

また、本日事務局の市民健康課職員が6名出席しております。

名簿を配付しておりますので、紹介は省略させていただきます。

事務局からの説明は以上になります。この後の進行は中村会長にお願いしたいと思っております。よろしく願いいたします。

中村会長

ただ今より、令和3年度第2回鎌倉市食育推進会議を開会いたします。

今日はお忙しい中ご参加いただきましてありがとうございます。

昨年12月の東京栄養サミットがありました。栄養の国際会議でこれほど大規模に行われた会議はなかったのですが、国内ではパレスホテルに集まって、外国ではオンラインでやりました。7日の夜10時から開会式があって、要するに欧米の時刻に合わせて行っているのでも夜中ずっとですね、それが2日間にわたってありました。最初はハイレベルセッションということで、30カ国の大臣クラスがスピーチして、その後国連機関が挨拶して、そしてあとは民間のNGOや財団が挨拶しました。国連の事務総長やWHO、民間財団からビルゲイツまで出たのです。ビルゲイツも、もう栄養のためなら俺はいくらでもお金を出してもいいみたいな話をしていました。

それで岸田総理と林外務大臣も挨拶をされたのですが、岸田総理はですね、これ向こう5年間のうちに栄養に関して3000億円を日本国は融資すると言っていました。その後2日目はいろんなテクニカルセッションという各分野に別れて議論をしました。なぜ、世界のリーダーたちが今栄養について考え始めて

いるかという、SDGs は皆さんご存知だろうと思うのですが、17 項目ありまして、そのほとんどに栄養が関係するのです。

つまり栄養がなければ健康になれないし、栄養状態が悪ければ教育レベルが上がらない、教育レベルが上がらなければ良い人材が育たない、良い人材が育たなければ国家がまとまらない、国家がまとまらなると食料を手に入れることができない、こういう堂々巡りが栄養を中心にして起こってくる。議論の中で非常に注目されたのはジェンダー問題も栄養が関わっていると、欧米の人たちから意見が出ました。それは、女性たちの栄養状態を良くすれば、女性たちの能力が高くなり、学習能力も、体力も高くなって社会参画がしやすくなる。逆に女性の栄養状態が悪ければ女性差別に繋がっていく、ジェンダー問題が深刻になるというような発言がありました。

岸田総理が最後に私の名前を出してくれたのです。総理大臣のスピーチの中に、(中村がその) 栄養の力により人々を健康で幸せにするという言葉が私が本で書いたのですが、その言葉を引用してくれてですね、この思いを世界に知らせますということを書いてくれて、聞いていて椅子から転げ落ちそうになりました。結局栄養サミットでは 300 ぐらいの国や団体からコミットメントが出てですね、これほど大規模な栄養の国際会議は初めてだろうという評価です。

今、外務省のホームページにそのことが載っています。やはり栄養とか食料というのは、外交問題になるというようなことが総括として書いてありました。

今回少し話が長くなってしまっているのですが、ウクライナをなぜロシアが欲しがるかという、あそこは大穀倉地帯なのです。小麦粉が非常に取れるところであの大地が素晴らしいですね。皆さん、ひまわりという映画は知っていますか。戦いに行って戦地で、ひまわり畑を見るというシーンがあるのですが、ひまわりから油を取るのですね。植物性の油がとれる、非常に重要なところだったのですね。地中海はオリーブ油があるのですが、ヨーロッパの大地のところにはオリーブが育たないからひまわりで油を取っていました。今回のウクライナを見て、この映画を思い出してしまったのですが、栄養とか食料の問題というのは、僕らは健康のためと言ってしまふのですが、これは非常に大きな食料戦略になったり、環境問題に関わったり、教育の問題、労働の問題、賃金の問題そして貧困の問題と関わってくるということが、今回の栄養サミットで明らかになりました。3年後はパリで今度は開催するのですが、また新しい良い考え方がパリでは出てくるのではないかなと思っています。

では、議題に入らせていただきます。

次第に従い、議題（1）令和4年度以降の計画進捗管理の方法について、事務局から説明をお願いします。

事務局

事前にお送りしております資料1、資料2をご用意ください。

【資料1】は3枚組でございます。

1枚目が新規開始になった取り組み事業

2枚目が廃止となった取り組み事業

3枚目が特記事項

【資料2】モニタリング項目一覧案

をご用意ください。

それでは議題1の説明に移らせていただきます。

毎年第1回目の会議において、昨年度の実績報告及び来年度の取組予定について、ご報告しております。これは、計画の進捗管理をするためのもので、それがゆくゆくは食育推進計画35ページにあります指標の達成につながるようにとのことで、行っているものです。

計画の策定時は無作為抽出のアンケートを実施しておりまして、その数値に基づいて計画35ページの指標の目標値を設定しています。本来であれば、その数値の経年変化の確認をもって進捗管理できるとよいのですが、毎年無作為抽出のアンケートをすることは予算の関係上難しいこともあり、事業実施のとりまとめをもって、計画の進捗管理としておりました。しかし、必ずしも事業実施の実績と指標とがイコールで結びついてはいかないことや、実施事業が多いことで全体を通しての課題が見えにくくなっていることから、とりまとめ方法の変更を考えております。

まず、どのような事業を行っているかの全体把握は必要と考えていることから、様式を簡素化した形にて、とりまとめをいたします。

最新で、令和2年度の事業実績を取りまとめていますので、次年度はそれを基準とし、変更になった部分のみ、とりまとめを行います。具体的には資料1、1枚目の新規開始になった取り組み事業、資料1、2枚目の廃止になった取り組み事業、3枚目の特記事項です。

また、事業のとりまとめに加えて、指標に近い数値のモニタリングを考えています。

【資料2】はモニタリング項目案です。

こちらは健康づくり計画と食育推進計画の指標を合わせた内容となっています。分野のところに「食育」と記載があるものが食育推進計画のモニタリング数値です。資料2は郵送でお送りしたものを一部修正しておりますので、お手数ですが、電子でお送りしたものが、今画面に映し出されているものをご覧ください。

幼児健診や成人健診の問診票からわかることや、学力・学習状況調査結果、他課で実施しているごみの組成調査などの結果などをモニタリング項目としています。これらモニタリングできる数値を洗いだし、そこから課題を抽出する予定です。

これらの方法で、現状での課題を見えやすくし、事業の見直しや今後の方針に役立てたいと考えています。

以上で説明を終わります。

中村会長

事務局からの説明について、ご意見・ご質問などございますか。

質問ですが、新規事業や廃止事業となったものというのは、それぞれ理由があるのですか。

事務局

今回お出ししているものは来年度以降のとりまとめ様式の雛形ですので、今後新規事業や廃止事業があった際には、理由も記載しましてご報告ができるようにする予定です。

中村会長

そうですね。それが大事なのではないかなと思います。

では、議題（２）効果的な情報発信の方法について事務局から説明をお願いします。

事務局

資料3をご覧ください。

これまで情報発信が課題であり、必要な人に届いていないのではないかとこの指摘がありました。

これを受け、まずできるところからということで、ホームページの整理を行いたいと考えています。

資料3をご覧ください。現在もホームページ内で健康情報を発信していますが、あちこちのページにちらばっていますので、それらを1か所にまとめようと考えています。どうしても情報が多くなりますので、毎月のトピックスというような形で、特に読んでもらいたい記事が上にくるようにすることで、定期的に閲覧してもらえるようにしたいと考えています。

中村会長

何かご意見、ご質問はございますか。

ここの情報っていうのはイベントに関する情報などですか。

事務局

イベントだけではないです。例えば今ですと、離乳食に関する情報、高齢者の食事について、フレイル予防の情報など様々発信をしているんですが、実際その情報を見ている方がどれだけいらっしゃるかといったところが課題になっていまして、そのような情報をまとめた入り口を作るといったような形で、入っていきやすくするといったところで考えています。

中村会長

今、巣ごもり状態になっているので、健康食品がすごく売れているらしいです。お年寄りが出られなくて。そういう質問はあるのですか。

事務局

市役所の方にも随時電話でのご相談があり、そこまで多い印象はないですけども、中には健康食品をたくさん使っている方もいらっしゃいます。これは本当にいいものなのかなと、ちょっと半信半疑になりながら使っている方もいるとお見受けしています。

中村会長

世界中で問題定義されているのは、家庭の中で、限られた食べ物しか食べてないので、コロナ禍が終わったときに肥満や糖尿病が世界中で増えるのではないかということです

厚労省も去年の秋ぐらいですかね、緊急でコロナ禍での食事の調査を行ったのですが、その結果はやはり野菜と果物と乳製品の摂取量が減っていました。そして炭水化物系の食事が増えてきて、そこに運動不足が重なってきて、肥満が増えるのではないかというデータを国が出しています。

ですから、そういったこともトピックス情報として流してあげたらいいのではないかなと思います。

臨床の先生方とも時々会うのですが、巣ごもりをしていると血糖と血圧が上がるそうです。外食が少なくてもいいことなのだろうが、やはり家庭で食事をするとどうしても偏ってしまう。それで安易に健康食品に依存してしまうということが起こり始めるのではないかなと思っていますので、ぜひ、正しい情報を流してもらえればいいと思います。

加藤委員

前回の会議で、いろんなサイトをご案内いただいたので、それを含めてその表題別にQRコードを作成し、必要な患者様にお渡ししています。また先ほどの鎌倉市の電話相談の電話番号もホームページにあったので、あわせて記載をさせていただきます。

病院にかかってない患者様でも、お電話で聞くことができるということで、すごくご好評いただいていますので、ご案内いただきありがとうございました。それから、今日この資料3を拝見いたしまして、このバナーというのは例えば、当院のホームページに鎌倉市役所鎌倉市のホームページに飛べるようなバナーが用意されているということなのでしょうか。

中村会長

事務局どうですか。

事務局

市のホームページからまず入っていただいて、いくつかクリックしていただく先に、このページに飛ぶというようなイメージです。バナーのところはタイトルみたいな形で、挿絵みたいなものですか、そういった健康をイメージできるようなものを、画像のような形でここに付けるというイメージでいます。

加藤委員

ありがとうございました。

では今までと同じように案内をするときは、リンク表示をするという感じで考えてよろしいのですよね。

事務局

はい、こちらの資料3のページの URL を QR コード化して、このページに飛ぶと色々な健康情報載っていますよというような形で周知できるようにしたいと思っていますので、実際このページができあがりましたら、URL と QR コードをお知らせします。

加藤委員

承知いたしました。ありがとうございます。

中村会長

60～70 代の高齢者はネットが使えますかね。

事務局

健康づくり計画の委員会でも、やはり医師会の先生から、高齢者の方で 60 代はネットができる方が多いのですけれども、70 代以降の方への情報発信はネットと併用して紙媒体も必要ではないかというご意見を（以前）いただいておりました。今こちらのページを見ていただく対象としては 60 代ぐらいまでのところをターゲットとして作成をしております、70 代以降の方については、紙併用でという形で考えていかなければいけないかなと思っています。

今も高齢者に対しては、紙で印刷したものをお配りはしているので、そちらも継続しながらと考えています。

中村会長

そうですね、他に情報発信に関して何かご意見ありますか。

コロナ禍でいろいろ制限があって、講習会や会食会やといったコミュニケーションができないのですが、何か事務局の方からそういったことに関してご意見ありますか。

事務局

今年度はコロナ禍の中で、かなりイベントや教室に制限がありまして、特に

食育の事業ですと試食ができないというところが、かなり苦勞した部分でした。その中で、試食をせずにできる講座ということで、離乳食教室であれば触る体験だとか写真で見せるとか、妊婦さん向けの教室だと、デモンストレーションだけ行って作り方を見ていただいて、匂いを嗅いでいただくなどして、ちょっと美味しそうだからおうちでも作ってみようかなということを目指して、五感で体験していただくみたいなどころでやったものもあります。

妊婦さんの教室では、土曜日開催だったということもあのですけれども、お父さんの参加率も高く、食事について意識が高まっているのかなというのを感じました。在宅勤務が増えているので、普段からお父さんが食事をメインで作っているという方も中にはいらっしゃると思います、そのあたりがコロナ禍での（食事の）食生活の変化でもあるのかなといったところを感じております。在宅勤務の方の食生活へのアプローチというのも今後？必要になっていくかなというところで、今年度、感じたところでもございました。

また来年度はコロナの感染状況を踏まえながらの判断にはなりますが、イベントや教室も少しずつ実施していきたいなと思っています。また委員の皆様にご協力をいただきながら実施をしていきたいなと考えています。

中村会長

チラシの配布に関してもご協力していただかなきゃいけないのですよね。

事務局

はい、運動の分野になるのですが、鎌倉市で20歳以上の方を対象に、アプリを使っていただいて、歩くとポイントが貯まるという事業を、今年度から始めております。歩いたり、体重を記録したり、健康コラムとして管理栄養士さん監修の旬のレシピや健康的な食事のとり方などの記事も出てくるようになっていまして、それらを利用するとポイントが貯まるというような仕組みになっております。1ヶ月頑張ってくださいと最大180円分ぐらいのポイントになり、Amazonのギフト券やnanacoのポイントなどと交換できます。4月以降にチラシを作る予定でおりますので、ぜひ委員の皆様にもご協力いただいて、多くの方にこの事業を知っていただけたらなと思っています。

今現在1,800人ぐらい登録してございまして、その中でも継続して利用している方が76%と高く、使いやすいアプリになっているかなと思いますので、ぜひ皆様にご協力いただいて、チラシを配布できたらと考えています。

もし可能であれば、大体何部くらい必要ということで教えていただければ後日郵送させていただきますので、ぜひよろしく願いいたします。

また、皆様のご所属でのコロナ禍での取り組みや困っていらっしゃる事、課題になっている事など、ありましたら教えていただきたいなと思っております。今後の事業の展開の方法ですとか、連携というところで、いただいたご意見を踏まえながら実施できたらと思っておりますので、ぜひお願いいたします。

中村会長

加藤委員、何か取り組みの課題などありますか。

加藤委員

チラシはぜひいただきたいので、100部くらい、よろしくをお願いします。

どうしても運動量が少なくなっており、体育館とか、密閉空間で行われるようなものは休止されているものもあるのですが、何より手軽に始められるのが屋外で歩くことなので、これから季節も良くなっていくときなので、皆さん始めたい気持ちもあるのですけれども、始めてもまた続けるのが大変っていうのも課題としてありまして、そういうときに、こういうポイントがモチベーションになったり、アプリを利用している方の中でお互い一緒に頑張ろうといった繋がりが見えたりということはよく聞いたりとかするので、たくさんの方にご紹介したいと思っています。

今回の資料の中で「家族で歩こう健康かまくらマップ」の存在を知って、こちらもご案内しようと思っていたところなので、あわせて、お配りできたらなというふうに思います。よろしくをお願いします。

桜井委員

はい。では次に桜井委員をお願いします。

桜井委員

保健所では今まさにコロナの対応でいっぱいなのですが、先日、高齢者の方が多く利用する施設でお話をする機会があったのですが、やはりなかなかコロナで表に出てこない、減ってきてしまっているという状態があるということをお聞きしました。やはり表に出るということが健康に繋がるのだなということを感じました。その中で、栄養のことをお話しさせていただいたのですけれども、やはりこういった機会があると嬉しいという反応はいただいたんですね。ですから、高齢者の方はちょっと集まってとか、仲間作りとかという何かそういう中で、学んでいくといいのかなと思いました。

それから、この情報提供というところで、保健所が食品表示などから健康作りを進めているところもありますので、そうしたもののリンクを張れるのではないかなと思いましたので、よろしくお願ひいたします。

中村会長

はい、次に中谷委員はいかがでしょう。

中谷副会長

大学の方で生涯学習センターというのがございまして、会員になっている方は中高年の方が多いです。大学に来られるということで結構お元気な方が多いですので、今こういう世の中なので、オンラインで生涯学習を行っていたりも

するのですけれども、また対面でやるようになると思いますので、その時に図書館の中にある生涯学習の事務局にいろいろなポスター掲示をしていたり、チラシを置いていたりするブースがありますので、そこに置かせていただけるといいかなと思います。

中村会長

中谷先生、こういう運動のアプリなどを学生は使いますか。

中谷委員

どうですかね、あまり話を聞いたことないですけれども、先生のところはどうですか。

中村会長

うちもあまり使わないですね。神奈川県が健康づくりのアプリを作られたのですが、あまり普及しなかったですよ。事務局はどうですか。

事務局

実際に利用されている方で、一番反響がよいのは50代だなという感じがしています。一番登録が多い年代です。

20代はやはり少なく、なかなか難しいなといったところで、まだ健康に関心が向かない世代であると思いますので、まずは30代以上をターゲットに、増やしていきたいと考えています。意外と50代の方が登録してくれると、同じ世帯の息子さんや娘さんを誘ってくれて後から若い方が登録してくれるみたいなところが今見えてきているので、まずは30～50歳代を狙って、そこからご家族に広げてもらうみたいなどころでいけるといいかなと考えているところです。

中村会長

畠中さん、いかがでしょうか。

畠中委員

今回の健康づくりのためのお役立ち情報のホームページに関しては、とても期待しております。

チラシに関しましては、私は武道館をよく利用しているのですけれども、そちらにはいろいろなスポーツ団体が入っていて、年代に関わらずたくさんの方が目にしてくれるのではないかと考えています。私は調理の団体にも所属していたのですが、そこの方たちは高齢者が多いので、スマートフォンを使いにくいようなことをおっしゃっていました。先ほどおっしゃっておられたように、50代が中心になって使って利用していくというののもわかるような気がするんですけど、60代70代の人たちは、時間にも余裕がありますし、健康にはとても関心が高いので、そういう方たちにも使えるような方法があればいいかなと

思っております。

中村会長

ありがとうございました。
牧田委員はいかがですか。

牧田委員

商工会議所の方でも何部かいただきまして、会議所の方で配布をさせていただきたいと思っております。私ども事業者はコロナでこの何年か、活動もできませんで、特に飲食系は本当に大変だったのですけれども、昨年少し感染が落ち着いたときに久しぶりに弊社の方に学生さんがいらしてくださって、少しワークショップのようなことができました。コロナが収まれば、またそういった総合学習のような形で学生さんといろんなことができるかなと思って楽しみにしております。

それと本日、鎌倉女子大の吉田先生のゼミのメンバーの皆さんに手伝っていただいて、鎌倉食品衛生協会のメンバーと一緒に学童での手洗い指導を初めて実施しました。健康と衛生管理というようなところも含めまして、今後食品衛生協会とも連携をしながら、お子さん向けのイベントとして、出張、アウトリーチ教育ができればと思っております。今日は第1回目だったのですけれども、鎌倉の管内でそういったことが少しずつできればと思っております。

先ほどのアプリの方は大人向けですけれども、小さいお子さんたちにも何かそういった食育、教育のお手伝いを、事業者として今後もさせていただきたいと思っております。

中村会長

今、手洗いの話が出ましたが、日本人は手洗いを普通にやって習慣化していますが、実は手洗いの習慣を持っている民族はそんなに多くないのです。アジアの人たちはほとんど知らないです。

うちの大学にも、ベトナム、カンボジアなどからの留学生が来たりするのですが、手洗い習慣があるかないか聞いたら、ほとんどないと言います。だから日本人は子供のときから徹底して手洗い習慣っていうのを教育されていますが、あれはとても重要なことだろうと私は思います。それが、今回のコロナ禍でも予防になっているし、感染症に対する基本だと思えますね。

本日の議題はほぼ終わりましたので事務局の方から他にありましたらどうぞ。

事務局

今年度はこちらの第2回目の会議で、食育推進会議は終わりになります。また来年度は、年2回開催予定です。また日程調整をさせていただきます。

牧田委員

すみません、日程は先に決まっていたかと思いますが、開催通知が届くのが直前でしたので、開催の1か月くらい前にリマインドメールをいただけるとありがたいなと思います。

年に2回しかない会議で、4人の委員の皆さんのご意見を承ることができなかったのは、やっぱりすごく残念ですので、なるべくその辺のところを配慮していただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

中村会長

はい、ありがとうございました。

他にありますか。

加藤委員

度々すいません。

お話の中であった食品ロスのことをちょっとお伺いしてもよろしいでしょうか。前回も、食品ロスやSDGsの話とかがありましたが、市のホームページにフードドライブのことも載っていたので、当院の患者様で農家の方がいらしてご紹介をしました。ただ、こういうフードドライブとかに預ける場所があるのは知っているのだけれども、賞味期限何ヶ月以上という制限があるので、今日これが売れ残ったのだけどどうしようというような山のような野菜がどうにもできないとおっしゃっていました。何かそういう生鮮食品でも、直近でも、こういうところに連絡すれば活用いただけるみたいな情報をもしお持ちの方がいらっしゃれば教えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

中村会長

事務局の方から情報ありますか。

事務局

当市にいつもご協力いただいている市民団体さんがあります。フラットカフェ鎌倉という子ども食堂やフードバンク、フードドライブもされている団体さんです。定期的に食品の配布などを行っている団体さんなので、もしかしたらご相談にのっていただけるかもしれませんので、一度こちらの方でも確認をして、加藤さんに後でご連絡をさせていただきます。

中村会長

では、その他について事務局からお願いします。

事務局

来年度は感染状況を踏まえつつ、教室・イベント実施について、可能な範囲で取り組んでいきたいと考えています。委員さんにもまたご協力いただくことがあるかと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

今回、開催通知と資料をお送りするのがギリギリになってしまって申し訳ございません。

牧田委員からもありましたように、次回は開催通知1ヶ月ぐらい前に日程だけでもご案内できるようにしたいと思いますので、そちらでご確認をいただきまして、資料が少しその後になってしまうかもしれませんが、なるべく早くお送りできるようにしたいと思います。

中村会長

他に委員の皆さんから何かありませんか。

これで令和3年度第2回鎌倉市食育推進会議を閉会します。